

認定特定非営利活動法人
しみん基金・こうべ

2017(平成 29)年度事業報告書



2018(平成 30)年 5 月

はじめに

平成 29 年度は、前年度に取り組んだ「市民ファンド推進助成プログラム」（助成元：市民社会創造ファンド）の助成金を受けて新規に開発した寄付プログラムを継続・定着させながら、ファンドレイジング力の基盤強化につとめてきました。

8 月に神戸新聞事業社と連携して、「カンパイ KOBE」にブース出展するかたちで、第 2 回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」を開催しました。また、12 月には、第 2 回チャリティ・パーティ「寄付がつなげるひと、育てるまち～Tani matching2017」を開催しました。

また、4 月から寄付つき商品の第 2 弾としてウェスティン淡路ホテルと提携してオリジナルマスコット「ラストイン」商品の販売を始めることができました。

同じく 4 月から神戸市と協働して、市民活動応援サイト「つなごう神戸」の運営を始めました。

一方、平成 29 年度助成事業では、今回も「次代の市民活動の担い手育成を重視する」と「地域との連携の観点を重視する」というテーマを掲げて実施しました。そして、10 月に開催した公開審査会の結果、7 団体（一般枠；5 団体、特定枠；2 団体）の各事業に合計 2,379,000 円（一般枠；1,882,000 円、特定枠；497,000 円）の助成金を交付しました。

また、「黒田裕子賞」を創設し、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年 1 回表彰することになり、第 1 回目の受賞者として市川（関本）英恵氏に贈呈致しました。

2018（平成 30）年度は、「チャリティタウン KOBE」と「おたがいさま基金」という 2 本柱を立てながら、事業メニューの充実化と伝える力をつけていくことでファンドレイジング力の強化をさらに図っていきます。来る 2019 年度には当基金も創設 20 周年を迎え、これまでにも増して市民や企業市民等の支援者と社会的な課題解決に役割を果たしている市民活動団体を育みつつ繋げていく役割を担ってまいります。

皆様方からの更なるご支援、ご協力を賜りますよう、宜しく願い申し上げます。

認定特定非営利活動法人 しみん基金・こうべ
理事長 戎 正晴

目次

はじめに	2
目次	3
1 助成事業	
ア) 平成 29 年度助成事業	4
イ) 平成 29 年度しみん基金・KOBE 特別賞	6
ウ) 平成 29 年度黒田裕子賞	6
エ) 平成 28 年度助成事業成果報告会	6
2 寄附・募金活動	
ア) 寄附金・募金受入	7
イ) イベント募金	8
①第 2 回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」	
②第 2 回チャリティ・パーティー「寄付がつなげるひと、育てるまち-Tanimatching」	
③こうべ・あいウォーク 2018	
ウ) 協働企画型寄付システム	10
①古着チャリティ事業	
②寄附つき商品（有馬ソルトクッキー、ウェスティンホテル淡路オリジナルマスコット「ラストイン」商品	
③Yahoo ネット募金	
④古本キフ	
⑤カイトリ	
エ) 広報・情報発信	11
3 中間支援事業	
ア) 「つなごう神戸」運営事業	12
イ) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業	13
ウ) NPO 支援活動	14
エ) はあ〜とふるふぁんど支援事業	15
4 運営管理	
ア) 会議	16
イ) 管理	16

1 助成事業

ア) 平成 29 年度助成事業

①助成の趣旨

しみん基金・こうべの助成事業は、地域を愛する多くの市民・企業等が自発的に寄附という形で資金を提供し合う形で基金を形成し、それらを市民社会組織に対して開かれた自律的なルールで助成することで、阪神淡路大震災で体験した助け合いの大切さを伝え、公共を行政だけに頼ることなく自律かつ自立した市民一人ひとりによる共助・互助をベースとした草の根市民活動を促進し、真の市民社会にふさわしい魅力と活力のある地域の創造に寄与することを目的としています。

②応募対象者

1. 神戸市及びその周辺地域に活動拠点または事務所を有する非営利団体（法人格の有無は問いません）
2. 自主性を確保し、自律的に運営されている団体
3. 団体として継続性を有し、支給された助成金の管理及び事業を遂行する能力・体制を備えた団体

③助成金額

平成 29 年度助成事業は、助成総額 250 万円を予定しました。

助成の区分	一般枠	特定枠
助成対象分野	活動分野に限定はなし。	東日本大震災や熊本地震など大規模自然災害で被災した人々を支援するボランティア活動に限定。
助成限度額等	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 50 万円 を上限とする。	1 事業について事業費総額の 4 分の 3 以内かつ、 金 25 万円 を上限とする。
	助成総額は 200 万円までを予定。	助成総額は 50 万円までを予定。
審査選考方法	書類審査を経て、団体訪問によるヒアリング調査を行い、公開審査会によるプレゼンテーションにて選定。	

④ 助成事業の内容

- 1) 平成 29 年度基本方針：A. 次代の市民活動の担い手育成を重視する。
B. 地域との連携の観点を重視する。
上記 A B の一方、もしくは両方をふまえた申請内容とすることとした。
- 2) 助成対象期間：平成 29 年 10 月 1 日～平成 30 年 9 月 30 日までの 1 年間における事業を対象とした。
- 3) 選考優先事項：助成先選考にあたっては、上記の基本方針を踏まえ、かつ市民社会の確立・存続にふさわしい草の根性、開拓性・先駆性、団体としての継続性のあるものを、優先した。
- 4) 助成対象経費：給料・手当（人件費）、福利厚生費、会議費、旅費交通費、通信運搬費、物品購入費、消耗什器備品費、消耗品費（事務用品費）、修繕工事費、印刷製本費、燃料費、光熱水費、地代家賃（賃借料）、保険料、諸謝金（謝礼金）、負担金（諸会費）※交際費は対象外。

5) 申請受付期間；平成29年7月18日（火）～平成29年8月31日（木）

個別相談団体数：延べ10件

申請受付団体数：31団体（一般枠；24団体、特定枠；7団体）

⑤ 書類選考 以下の通り、書類選考（1次審査）を実施した。

開催日時：平成29年9月21日（木）13:30～16:00

場 所：しみん基金・こうべ事務所

形 式：理事会にて審議

選考結果：15団体（一般枠；11団体、特定枠；4団体）

⑥ ヒアリング調査 以下の通り、書類選考された15団体の活動拠点を理事等で手分けして訪問し、ヒアリング調査を実施した。

期 間：平成29年10月2日（月）～平成29年10月7日（土）

形 式：当基金理事による訪問、ヒアリング調査報告書の作成

⑦ 公開審査会 以下の通り、書類選考された14団体（1団体がヒアリング調査後に辞退）のプレゼンテーションによる公開審査会を開催した。

開催日時：平成29年10月26日（木）13:00～17:30

会 場：神戸市青少年会館レクリエーションホール

出席審査員（順不同・敬称略）：

森崎 清登（審査員長）、髯本 郁、津久井 進、山田 剛司、辻 幸志、

岡野 亜紀子、石田 祐、佐竹 義浩、本荘 雄一、藤本 真里

⑧ 助成先決定団体・事業

公開審査会での選考結果を受けて、下表の7団体（一般枠；5団体、特定枠；2団体）の各事業に合計2,379,000円（一般枠；1,882,000円、特定枠；497,000円）の助成金を交付することを、同日に開催された当基金理事会にて決定した。

区分	番号	団体名	事業名
一般枠	1	(特活) Birth 神戸	障害を持つ人たちと一緒に作るパフォーマンスイベント
	2	(特活) リーフグリーン	子育て世代が安心して働ける職場づくりを
	3	こうべ子どもにこここ会	外国につながる子どもたちを支える為の日本語教室開催と地域連携
	4	ひょうごラテンコミュニティ	ラテンクリスマス神戸
	5	神戸・子どもと教育ネットワーク	戦前にタイムスリップ 親子で語り部体験
特定枠	T1	福島の子どもを招きたい！明石プロジェクト	原発事故被災者とともに保養活動の基盤強化に取り組む事業
	T2	神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti	熊本県西原村における地域コミュニティ維持のための活動

⑨ 覚書締結・助成金交付

上記各団体としみん基金・こうべ事務所にて、11月8日（水）に助成金交付に関する覚書を締結した。また、11月15日（水）までに、各団体に対して助成金を交付した。

⑩助成先団体活動レポート

助成先団体が助成金を使用してどのような成果を生み出しているのかを、広く寄附者や市民に知ってもらうために、助成先団体を訪問して、その活動の様子をレポートとしてまとめて、当基金ホームページで下記のとおり発信した。

- ・4/24：(一社) new-look
- ・6/30：兵庫県喉摘障害者福祉協会神鈴会
- ・8/21：シルバーカレッジ花実の森プロジェクト
- ・8/21：ガリレオクラブインターナショナル
- ・8/23：舞子坂ふーみん
- ・9/22：(特活) そらしど
- ・1/23：神戸大学持続的災害支援プロジェクト Konti
- ・3/5：こうべ子どもにここ会
- ・3/30：ひょうごラテンコミュニティ

イ) 平成 29 年度しみん基金・KOBE 特別賞

この賞は、当基金と縁の深い方々のご遺志に基づき、当基金設立以来のミッションである草の根支援の見地から、意義のある活動を活発に展開され功績のあった団体に対し授与されるものです。

公開審査会同日に開催された理事会の審議により、今年度は「日本国際学生協会」に決定し、平成 28 年度助成事業成果報告会にて贈呈式を行いました。

ウ) 平成 29 年度・第 1 回黒田裕子賞

この賞は、当基金の初代理事長であった故・黒田裕子さんの意思を引き継ぎ、その実績や功績に見合った活動を行っている団体又は個人を年 1 回表彰するもので、今年度より創設されました。

理事会の審議の結果、第 1 回の受賞者は市川英恵さんに送ることに決まり、平成 29 年度公開審査会にて贈呈式を行いました。

エ) 平成 28 年度助成先事業成果報告会

平成 28 年度助成事業（助成対象期間：平成 28 年 10 月 1 日～平成 29 年 9 月 30 日）について、平成 29 年 10 月末日までに事業報告書を提出頂きました。また、事業成果報告会を下記の通り実施しました。

- ・開催日時：平成 29 年 12 月 7 日（木）13:30～16:00
- ・開催場所：神戸市青少年会館レクリエーションホール
- ・発表団体：シルバーカレッジ花実の森プロジェクト、舞子坂ふーみん、日韓学生会議、
（特活）そらしど、兵庫県喉摘障害者福祉協会神鈴会、(一社) new-look
ガリレオクラブインターナショナル、どろんこキャラバン☆たんば

2 寄附・募金活動

ア) 寄附金・募金受入

以下のみなさんより寄附金を頂きました。(敬称略・順不同)

中谷 豊	芦屋西宮市民法律事務所	西川 伸一
白水 士郎	(有)ボック★※*	佐藤庸安税理士事務所★
近畿タクシー(株)★	金公認会計士事務所★	(株)MANIX★
(株)ピーエス★	(有)長崎屋★	奥井電機(株)★
(株)夢舞台★※	瀬戸口延恵	(一財)敬愛まちづくり財団☆
佐竹 義浩	辻 幸志	石田 祐
山田 剛司	髯本 郁	野崎 隆一
中村 保佑☆	(特活)ひょうご安心リフォーム推進委員会☆	(有)神輝興産☆
井口 寛司☆	福原 初子☆	久戸瀬 昭彦☆
勝部 慶子☆	関西日英協会☆	大和リース(株)神戸支店☆
(株)ロック・フィールド☆	當間 克雄☆	戎 正晴☆
(株)ニュースダスト☆	中村 順子☆	鬼本 英太郎☆
(株)神戸新聞事業社☆	(一財)ウルノス☆	赤松 竜
戎・太田法律事務所	井上 由紀子	兵遊協福祉基金
こうべあいウォーク 2018 実行委員会	飛田 雄一	ブックオフオンライン(株)
中島 秀男		ヤフー(株)
ブックオフコーポレーション(株)		
オレンジスリフティ ((有) 神戸国際マーケット) へ古着を提供して頂いた皆様		
他匿名希望 2名		
ボックサン店舗設置募金箱*	しみん基金 KOBE 事務所設置募金箱等*	

総額 ¥3,726,257

皆様方のあたたかいお志に心より感謝申し上げます。

なお、★印は「チャリティ×防災イベント」への協賛金として、☆印はチャリティ・パーティ「寄付が
つなげるひと、育てるまち Tani matching」への寄付金として ※印は寄付つき商品によって寄付を頂
きました。また、*印は募金箱設置によるものです。

イ) イベント募金

① 第2回チャリティ×防災啓発イベント「ローリングストックって？」(協働事業)

神戸新聞事業社と提携して、市民・企業・NPOの3者が参加するテーマ設定型啓発イベントとして、今年度は「みなとこうべ海上花火大会」に合わせて開催されている「カンパイ KOBE」にブース出展させて頂くかたちで企画しました。

家庭で廃棄される食品のうち手つかずのままのものは22%に及ぶ。一方で平時から災害に備えるためには一定の食料を保存しておく必要がある。この企画では、保管されたままになっている賞味期限内の「もったいない」食品をご寄付いただき、その代わりに新しい保存食を提供すること、そして保管されている保存食をおいしく食べることを経験することで、防災における「ローリングストック」の大切さについての理解を広げることを目的としました。

■開催日時：2017年8月5日(土) 14:00～22:00

■開催場所：みなとの森公園 カンパイ KOBE 内ブース

■プログラム内容：

- ・保存食・非常食を、イベント参加者に持参してもらうよう呼びかける。
- ・イベント参加者に、保存食・非常食を活用した簡単な料理を販売する。
- ・イベント参加者に、「ローリングストック」啓発パンフを配布する。
- ・保存食・非常食持参者には、井上食品(株)等から提供頂いた新しい保存食を提供する。

■主催：認定NPO法人しみん基金・KOBE

■協力：井上食品(株)、(株)サタケ、エム・シーシー食品(株)、サロン・ド・あいり
NPO法人ワカモノチカラプロジェクト、モシモフードプロジェクト、NPO法人プラスアーツ
認定NPO法人フードバンク関西、認定NPO法人まちコミュニケーション

■助成：ひょうご安全の日推進事業

■成果：

- ・下記の各社から広告協賛を得ることができた。
(株)夢舞台(ウェスティンホテル淡路)、奥井電機(株)、戎・太田法律事務所
(株)築港、近畿タクシー(株)、金公認会計事務所、佐藤庸安税理士事務所
生活協同組合コープこうべ、(株)ピーエス、(有)ボック、(株)マニックス
(株)甲南堂印刷、まめや総本店、(有)長崎屋、リーガルオフィス神戸
- ・賞味期限近くの保存食の持参を呼びかけ、26kgの保存食を提供頂き、新しい保存食を提供し配布した。また、集めた保存食は、認定NPO法人フードバンク関西に寄贈した。
- ・サロン・ド・あいりと共同で考案した保存食を活用した料理を販売し、約350食分を完売した。
- ・会場で、「ローリングストック」啓発パンフを約500部配布した。

②第2回チャリティ・パーティー「寄付が繋げるひと、育てるまち～Tani matching」(協働事業)

住み慣れた地域(まち)で最期まで暮らし続けたいという願いを、小さくても地域(まち)にとってかけがえのない市民活動団体に「寄付」という形で応援する、地域に根差したちよっとおしゃれなチャリティ・パーティーを開催しました。

今回は、地元企業である神戸酒心館から会場をご提供頂き、企業の従業員が参加しやすいように平日の夜に開催しました。

また、「市民活動団体」は、7月に公募して、10団体が応募してきました。その中から、9月に6団体を共催団体とともに選考しました。

■開催日時：2017年12月13日（水）17:30～20:30

■開催場所：神戸酒心館ホール

■プログラム内容：

- ・オープニングセレモニー
- ・「市民活動団体」プレゼンテーションタイム
NPO法人アウフタクト、NPO法人クルーズ、サンデーカフェの会
NPO法人友之会、NPO法人アートゆるり、WORKMATE
- ・参加者と「市民活動団体」の交流タイム
- ・マッチングタイム／結果発表
- ・エンディングセレモニー

■主・共催：認定NPO法人しみん基金・KOBE、
認定NPO法人コミュニティ・サポートセンター神戸
認定NPO法人はんしん高齢者くらしの相談室

■後援：兵庫県、神戸市、一般社団法人神戸青年会議所、(社福)神戸市社会福祉協議会

■助成：ひょうごボランティアプラザ

■成果：

- ・参加者：34名（個人：9人、9口、企業・団体：10社、56口・・・個人換算） ・寄附金：¥650,000
- ・市民活動団体：6団体、15名 ・助成金額：¥487,400 ・オブザーバー：1名、 ・スタッフ：13名
- ・参加者の満足度は高く、すべての団体とテーブルで話すことができ良かった、という評価を頂けた。また市民活動団体からも、市民の前で自分たちの活動について話す機会を得られて心から感謝します、という意見を頂けた。

■その他：

- ・実行委員会の開催・・・5/9、6/13、8/9、9/7、11/22、1/10
- ・「KOBE たすけあい広場（フォーラム）」構想の発表

③こうべ・あいウォーク 2018（協働事業）

市民活動を精神的にも資金的にも支援するという理念を次の世代に受け渡すイベントとして開催しました。スタート地点での募金（一口千円）は、当日の経費を差し引いて当基金へご寄付頂きました。

■主催：こうべ・あいウォーク 2018 実行委員会（(特活)神戸まちづくり研究所、
(認定特活)まちコミュニケーション、(認定特活)しみん基金・こうべ）

■協力：近畿労働金庫地域共生推進室

■日時：平成30年1月14日（日）9:30～13:30

■場所：長田区（大国公園～鉄人28号モニュメント前、大正筋商店街、丸五市場 ～みくら5）

■実績：参加者／約140人、寄附金額／¥120,305

ウ) 協働企画寄付システム

①古着チャリティ事業 (協働事業)

この事業は、環境負荷を抑えるために使用しなくなった衣類等の提供を通じて、市民の社会貢献意識の定着と市民によるボランティア活動を支えるファンドレイジングを目的としています。

引き続き(有)長崎屋ホワイト急便神戸と提携して、クリーニング回収チェーン店3店舗に「古着寄附BOX」を設置して、古着チャリティ事業の認知度を高め、古着寄附の増加に努めた。また毎月住所のわかる寄付者にはお礼状を送付した。

5月にはアースデイ神戸にブース出展して、古着寄附を呼びかけた。

■提携先：(有)神戸国際マーケット 寄附金額：¥191,978

② 寄附つき商品 (協働事業)

1) 有馬ソルトクッキー

引き続き、神戸洋菓子「ボックサン」のご協力により、寄附つきクッキー「有馬ソルトクッキー」(10枚入り、1080円・税込)をボックサンの各直営店等にて販売して、その年間売上高の3%が当基金へ寄附されました。

■提携先：(有)ボック 寄附金額：¥151,209

2) ウェスティンホテル淡路オリジナルマスコット「ラストイン」商品

今年度より、ウェスティンホテル淡路のご協力により、同ホテルのオリジナルマスコットである「ラストイン」商品(ぬいぐるみ等)9品をウェスティンホテル淡路内のショップにて販売して、その年間売上高の3%が当基金へ寄附されました。

■提携先：(株)夢舞台 寄附金額：¥58,196

③ Yahoo ネット募金 (協働事業)

引き続き「Yahoo! ネット募金」にて、余ったTポイントや期限切れ間近のTポイントを寄附できる仕組みに登録しています。

■提携先：ヤフー(株) 寄附金額：¥34,159

④古本キフ (協働事業)

引き続き、ブックオフコーポレーション(株)と連携して、同社の「ボランティア宅本便」という仕組みを通じて、当基金へ古本やDVD等で寄附ができるようにしました。

■提携先：ブックオフオンライン(株)、ブックオフコーポレーション(株)、寄附金額：¥661

⑤ カイトリ (協働事業)

今年度より、家にある価値はあるけど使わないモノを当基金へ寄附できる買取寄附プログラム「カイトリ」に登録しています。

■提携先：(株)シン・ファンドレイジングパートナーズ、(株)スクーナ

⑥その他

1) ろうきんNPO 寄付システム 提携先：近畿労働金庫、寄附金額：¥12,000

2) 募金箱 協力設置場所：4ヶ所 募金金額：¥66,219

エ) 広報・情報発信

① ニュースレター発行：3回

第42号：2017年7月、第43号：2017年12月、第44号：2018年3月

② ホームページ；最新記事を48本掲載。FB：最新記事を26本掲載

③ メルマガ発行：9回（4/18、6/20、8/17、7/14、8/23、10/3、11/16、1/10、3/1）

④ 検索サイト Google Adwords の広告掲示回数(2016年度) 447,386回

クリック数10,877回、クリック率2.43%

⑤ 古着チャリティ事業・クリーニング店舗用ポスター・リニューアル

⑥ 寄附月間用ポスター掲示@サンチカ地下通路

3 中間支援事業

ア) 「つなごう神戸」運営事業

市民活動応援サイト「つなごう神戸」は、ボランティアしたい人と NPO や市民活動団体をつなぐとともに、社会貢献をめざす企業が協働先を探すお手伝いをする、神戸市との協働で運営するマッチングサイトです。

今年度よりこの運営を認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸から引き継ぎ、それまで登録団体側だった立場から見えていた問題点の解消を行えるようサイトの全体的な点検を行い、機能の修正、追加を図りました。また既登録者への積極的アプローチとしてメールマガジンを創刊しました。

1) 運営協議会

①委員の構成：

社会福祉法人神戸市社会福祉協議会、神戸大学学生ボランティア支援室、
認定 NPO 法人コミュニティ・サポートセンター神戸、NPO 法人ふぉーらいふ、NPO 法人ポプリ
株式会社キットシステム、オフィルクリエーション、神戸市市民参画推進局

②協議会の実施：第1回：5/8、第2回：10/31、第3回：3/16

2) 実施内容

①サイトの情報更新・管理

- ・各種情報掲載の代行入力、電話やサイトからの問い合わせ対応
- ・社会福祉法人・NPO 法人新規登録時のログイン開始切り替え
- ・マッチング申請があったときの団体へのお知らせ

②メールマガジン創刊と継続・facebook への転載：月2回発行、合計24回。

③登録情報の整理、修正

- ・情報更新されていない登録団体・個人の判明（約140件）→団体分電話確認
→判明した場合は修正／不明の場合はログイン停止への切り替え等の対応を行った。

④サイト機能の見直し、追加・修正

- ・引継ぎ前のマッチング機能不備の発見(95件)
- ・サイト改善等のための調査：2回（大阪市役所、京都経済短大）→費用対効果は比較すると断然良い
- ・システム管理者とのミーティング：3回（5/17、9/27、3/1）
→マッチング申請時の団体へのメール通知機能修正、facebook・Google でのログイン機能追加
掲載する情報に URL などのリンクが貼れるように変更、SSL 機能の追加
イベント等の掲載期限・掲示板への書き込みをお知らせする機能の追加

⑤企業協賛の獲得（引継ぎ前：協賛会社5社→3社）

- ・新規協賛獲得のための訪問件数：10社、新規協賛件数：2社（(有)神輝興産、(株)淡路島本舗）

⑥事業の自己評価

- ・事業への自己評価のための評価シートを作成→両者それぞれで自己評価→運営協議会で共有

3) 成果

①登録団体数：493 団体（前年度 50 団体増）、登録個人数：333 人（前年度 25 人増）

②訪問件数：88,296 回（前年度 21,243 回増）

イ) ハンズオン型 NPO マネジメント支援講座事業

この事業は、神戸・兵庫地域の NPO 法人等を対象として、現状の経営分析を行い、課題を抽出して中期（事業）計画づくりを行うことを通じて、NPO 法人等の経営層のマネジメント能力の向上を図ることを目的とした基本コースと、前年度受講した団体向けに、PDCA サイクル（Plan（計画）→ Do（実行）→ Check（評価）→ Act（改善））をまわすことを定着させていくことを目的としたフォローアップコースで構成され、今年度は下記の通り実施した。

なお、昨年度は基本コースを実施しなかったため、今年度はフォローアップコースを実施しませんでした。また、この事業はひょうごボランティア基金・地域づくり活動助成を受けて実施しました。

[実施概要]

A. 基本コース

- (1) 座学講座：5 回開催（3 時間／回）／プレゼン＋レクチャー＋ワーク
 - ① 2017 年 11 月 16 日（木）第 1 回座学講座「NPO マネジメント論～ミッション・ビジョンと目標の重要性」
 - ② 2017 年 12 月 21 日（木）第 2 回座学講座「ステークホルダー分析手法を学ぶ」
 - ③ 2018 年 1 月 18 日（木）第 3 回座学講座「SWOT 分析手法を学ぶ」
 - ④ 2018 年 2 月 22 日（木）第 4 回座学講座「BSC による中期（事業）計画づくりを学ぶ」
 - ⑤ 2018 年 3 月 15 日（木）第 5 回座学講座「中期（事業）計画案」の発表
- (2) 個別訪問：4 回（2 時間程度／回）× 4 団体へ訪問／個別に課題作成を支援する
 - ① 座学①-②間で訪問し、「ビジョン検討シート」作成を個別支援
 - ② 座学②-③間で訪問し、「ステークホルダー分析シート」作成を個別支援
 - ③ 座学③-④間で訪問し、「SWOT 分析シート」作成を個別支援
 - ④ 座学④-⑤間で訪問し、「中期（事業）計画案」作成を個別支援
- (3) 受講団体 4 団体
 - ① 神戸いたやどばあちゃん（神戸市長田区）
 - ② 神戸フリースクール（神戸市中央区）
 - ③ (特活) 神戸猫ネット（神戸市垂水区）
 - ④ (特活) はんしん高齢者くらしの相談室（神戸市東灘区）

B. フォローアップコース＝今年度は実施せず。

[実施体制]

- ・スーパーバイザー兼講師：當間克雄氏（兵庫県立大学経営学部・教授）
- ・講師兼アドバイザー：河合将生氏（Office Musubime・代表、准認定ファンドレイザー）
- ・アドバイザー兼事務局：江口聡（当基金事務局長、認定ファンドレイザー）
- ・事務局：戸田香苗（当基金スタッフ）

ウ) NPO 支援活動

- ① 神戸市アドバイザー派遣事業 主催：(特活) 神戸まちづくり研究所 (神戸市からの委託事業)
 - ・(特活) そらしどへのアドバイス：5回 (8/30、10/19、11/28、1/25、2/27)
 - ・NPO 運営ステップアップ講座：2回 (9/30、10/28)
 - ・MTG・ケース検討会&全体報告会：8回 (4/25、7/31、9/28、12/14、1/12、3/3、3/12)

- ② チャイルドケモハウス・チャリティウォーク事前受付業務受託
 - ・事前受付業務期間：2017年5月上旬～6月9日
 - ・チャリティウォーク実施日：2017年6月10日(土)9:00～14:00

- ③ 敬愛まちづくり財団設立15周年記念式典 主催：一般財団法人敬愛まちづくり財団
 - ・助成先団体・しみん基金KOBE関係者等51名をご招待
 - ・記念式典実施日：2017年6月12日(月)18:00～20:00

- ④ 神戸市協働と参画のプラットフォーム
 - ・中間支援NPOと行政の意見交換会：1回(8/21)
 - ・ソーシャルブリッジ・オープニングフォーラム(3/25)

- ⑤ 居場所サミット 主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
 - ・開催日：2017年8月27日(日) 場所：神戸市勤労会館
 - ・実行委員会：6回(4/25、5/23、6/16、7/24、8/18、9/28)

- ⑥ KOBE助け合い広場(フォーラム)研究会 主催：(特活) コミュニティ・サポートセンター神戸
 - ・研究会：4回(6/29、9/15、11/18、3/13)
 - ・構成：(認定特活) コミュニティ・サポートセンター神戸、
(認定特活) はんしん高齢者くらしの相談室、(認定特活) しみん基金・KOBE
 - ・ゲスト：横田文子さん(一般財団法人神戸すまいまちづくり公社)
浦田和久氏(近畿労働金庫・地域共生推進室)
中野郁夫氏((株)ロック・フィールド)
 - ・「KOBE たすけあい広場(フォーラム)」構想の策定

- ⑦ 講演・その他
 - (ア) 2017年11月16日(木) 神戸大学経済学部「経済体制論」(鈴木純教授)
講師：江口事務局長 主催：(特活) しゃらく「ソーシャルビジネス実践者セミナー」
 - (イ) 2018年2月21日(水)・23日(金) 大阪市市民活動総合支援事業業務委託先事業者審査会議
審査委員：江口事務局長 主催：大阪市市民局

エ) はあ〜とふるふぁんど支援（ボランティアあしすと部門）事業（受託事業）

21 世紀は、コミュニティを支える人々の心や地域社会に根ざした文化とともにあらゆる人々の交流が重要になってきます。「兵遊協・ハート玉福祉支援事業/はあ〜とふるふぁんど」は、兵庫県遊技業協同組合加盟の遊技ホールのお客さまの協力を得て、遊技時に出たこぼれ玉や景品交換後の余り玉、それにホールからの寄付金を加えて、基金として積み立てていきます。その基金を、県内の福祉事業及び地域振興事業の支援金として毎年寄付し、地域への貢献、文化の育成を図る事業です。（はあ〜とふるふぁんど申請書より抜粋）

当基金は、この支援事業のうち「ボランティアあしすと」部門の事務局業務を平成 14 年度より毎年受託しています。

- ・主催：はあ〜とふるふぁんど実行委員会（神戸新聞グループ、兵庫県遊技業協同組合）
- ・支援対象 兵庫県内で地域ボランティア活動を行っている 5 名以上で構成される団体。
- ・支援金額 全体の活動費の 4 分の 3 相当で、最高 100 万円。

① 平成 29 年度事業

- ・ 5/2 最終審査会
- ・ 6/9 贈呈式

② 平成 30 年度事業

- ・ 申請受付期間 2018 年 1 月 5 日（金）～3 月 9 日（金）
- ・ 申請受付団体数 63 団体（うち 14 団体に支援金交付予定）

4 運営管理

ア) 会議

① 定時総会

開催日：2017年5月25日（木）18:00～19:00

開催場所：しみん基金・こうべ事務所

出席会員数：25名（うち委任状提出17名）、正会員数：34名

審議事項：（1）平成28年度事業報告並びに決算報告

（2）平成29年度事業計画案並びに予算計画案

（3）役員選任について

（4）基本財産取り崩しについて

② 理事会

1) 2017年5月10日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①審査員選任、②平成29年度定時総会付議事項、

2) 2017年9月21日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①平成29年度助成事業・書類選考、②「黒田裕子賞」の選考

3) 2017年10月26日（木） 開催場所：神戸市青少年会館

審議事項：①公開審査会選考結果承認・助成先団体・金額の決定、②しみん基金 KOBE 特別賞選考、③こうべあい・ウォーク 2018、④理事会等運営規則について

4) 2018年3月5日（月） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

審議事項：①総会・理事会等の今後の日程について

③ 監査

2017年5月2日（火） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所 監事：佐藤庸安、森田拓也

④ 四役運営会議

1) 2017年4月21日（金） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成28年度定時総会に付議する事項、②各事業の詳細について

2) 2017年8月19日（土） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①「黒田裕子賞」実施詳細について

3) 2018年1月25日（木） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①空き家情報の活用について、②役員改選に向けて、
③2018年度事業計画（案）作成に向けて

⑤ 理事・審査員合同会議

2017年7月19日（水） 開催場所：しみん基金・こうべ事務所

議事内容：①平成29年度助成事業について、②これまでの継続協議事項について

イ) 管理等

①所轄庁への事業報告書提出 6/15

②理事会等運営規則の制定 11/01

③会員向けに、年賀状・お誕生日カードの送付

④正会員異動・会費内訳一覧

	期首数	期末数	異動原因	決算額	決算内訳 (未収を含む)	未納者数
個人	32	31	今田氏逝去	300,000	28人×10,000+1人×20,000	2人
団体	2	2		30,000	1団体×30,000	1団体
合計				330,000		